

上越市立図書館
 子ども読書の日推薦絵本ブックリスト 2018
 ☆ 4月23日は子どもの読書の日 ☆



【イラストマークについて】

おすすめ本の目印として、掲載されている絵本の背表紙に年代ごとに絵柄の違うイラストマークが貼ってあります。本だんで本を選ぶときの参考にしてください。

0 さいから 

3 さいから 

5 さいから 

10 さいから 

保護者 

 0 さいから

あかまるどれかな？

しみずだいすけ/作 ポプラ社 2017



あか、あお、きいろ、みどりのまるがあります。「あかいろ どれかな？」「きいろはどれかな？」ゆびさししながら、いろいろな色や形、大きさのちがいが楽しめる絵本です。

くらべっこしましょ！

松田奈那子/え 石津ちひろ/ぶん 白泉社 2014

いちばん背がたかいのはだあれ？いちばん足がはやいのはだあれ？いろいろな動物たちの、びっくり、楽しいくらべっこが始まります！たか～い、なが～いしかけつきで、読み聞かせにもぴったりです。

ぼんちんぱん

柿木原政広/作 福音館書店 2014

ばんばんしょくばんぼんちんぱん。ページをめくるとあらわれるのは、おいしそうなパン。はすむような、たのしいリズムを口ずさみながら次のページをめくると・・・あら、びっくり！思わずみんながにっこりしてしまいそうな絵本です。

わたしはだあれ？

わたなべさとこ/絵 まつもとさとみ/文 KADOKA

WA 2017

あひるちゃんがすわっていると、「わたしはだあれ？」と、だれかが目かくしてたずねます。「だれかな…うさぎさん？」動物たちの「わたしはだあれ？」が、どんどん続き、最後はなんと…！？当てっこが楽しいコミュニケーション絵本です。

 3 さいから

おとうさんもういっかい

はたこうしろう/作 アリス館 2013



おとうさん、きょうはなにをあそぶ？おとうさんのはなのボタンをおすと、ひこうきになったり、ロボットになったり、いろいろへんしん！

くだものさがしもの

はらぺこめがね/作・絵 PHP研究所 2017

ぶどうがぶっとんだ…ばらばらになったぶどうの数をかぞえてみよう。ななほんのばなな…ばななのめいろをたどりながら、おさるのしっぽをさがしてね。くだものいっぱい、だじやれもいっぱいの親子で遊べる絵本です。

おつきさまはまあるくなくっちゃ！

ふくだじゅんこ/文・絵 大日本図書 2013

あるばん、ほそーいつきを見ておどろいたおばあさんは、おつきさまのためにたくさんごちそうを作ります。「おつきさまはまあるくなくっちゃ！」ごちそうをたべたおつきさまは…。

てのひらすいぞくかん

ハン・デヒ/さく やのもみこ/やく 瑞雲舎 2011

すいちゅうたんけんへしゅっぱつ！海のいきものがたくさんでてくるよ。ぺたんぺたん！手形をつかったイラストがとてもかわいいです。“てのひら”がどんな海のいきものになっているかな？ぜひ、さがしてみてください。



5さいから

すっぱりめがね

藤村賢志/作 教育画劇 2017

「すっぱりめがね」はふしぎなめがね。いつもは見えないもののなかみが、なんでも、すっぱりまるみえ！おにぎり、じどうしゃ、やきゅうのボールをめがねごしにのぞいてみると…？やさしいタッチでえがかれた断面図の絵本です。

だいくとおにろく

赤羽末吉/画 松居直/再話 福音館書店 1967

ながれのはやいおおきな川に橋かけをたのまれた大工が川をみていると、水の中からおにがあらわれ「目玉をくれたら橋をかける」といいました。大工があいまいな返事をしているうちに、橋ができて…。

つばめこうくう

もとやすけいじ/著 校成出版社 2016



カエルの親子が、つばめのひこうきによって行くのは南の島。「つばめこうくう」とはどんなところなのでしょう？カエルの親子といっしょに、空のたびにでかけましょう！

やもじろうとはりきち

降矢なな/作・絵 校成出版社 2017

なかよしのやもじろうとはりきち。でも、あるとき、かけっこがのろくて木のぼりもできないはりきちに「もうおまえとはあそばない」とやもじろうは言いました。ところが、はりきちはあとからついてきて…。やさしいともだちのお話です。



10さいから

すばこ

イ・スンウォン/絵 キム・ファン/文 ほるぷ出版 2016



昔、ドイツにベルレプシュ男爵^{だんしゃく}という鳥が大好きな人がいました。鳥をたくさん呼ぶため、森にすばこをかけることを思いつきます。それが世界の国々へ伝わるようになったあるきっかけとは…？

としょかんへぴょん！ぴょん！ぴょん！

タチアナ・マイ=ウ

イス/絵 アニー・シルヴェストロ/文 福本友美子/訳 絵本塾出版 2017

図書館の外でしていたおはなし会を見て、本が大好きになったうさぎ。夏がすぎると、外のおはなし会はなくなってしまいました。動物は図書館に入れないと思ったうさぎは、どうやったら本を読めるかを考えます。心温まるお話です。

ばあばは、だいじょうぶ

いしいつとむ/絵 楠章子/作 童心社 2016

「わすれてしまう」病気になってしまった、大好きなばあば。どんどん変わっていくばあばに、とまどい、腹がたち、やさしくできないぼく。そんな中、ばあばは家からいなくなってしまう…。おばあちゃんが大好きなあなたに読んでほしいお話です。

もりのおくのおちゃかいへ

みやこしあきこ/著 偕成社 2010

森の向こうのおばあちゃんの家まで1人でおつかいに行くことになったキッコちゃん。途中で見知らぬ家があって窓から中をのぞいてみると、動物たちが集まってお茶会をしていました。そこにキッコちゃんも招かれて…。



保護者

あかり

岡田千晶/絵 林木林/文 光村教育図書 2014

女の子が生まれたとき、初めてろうそくに火が灯されました。そして、ろうそくは嬉しいときも悲しいときも、女の子を照らし励ましてくれる心の支えとなります。大人になった女の子が火を灯すと…。ぬくもりのある絵と文章に心温まる1冊です。

いちばんしあわせなおくりもの

宮野聡子/作・絵 教育画劇 2016



森で暮らす、こりすとかまくんはお互いのことが大好き。こりすはくまくんが一番喜ぶプレゼントしたいと思いますが、くまくんは何もいらないうて言います。その理由は？

おかあさん、おみやげ

ささきみお/作・絵 フレーベル館 2015

保育園に通うぽこちゃん。お迎えの時間になると「おかあさん、おみやげ」と言って、保育園で拾った木の实や葉っぱをおかあさんに手渡します。ある日、ぽこちゃんとはびきりいものを見つけて…。実話をもとに描かれた絵本です。

ふまんがあります

ヨシタケシンスケ/作・絵 PHP研究所 2015

子どもは大人に不満がいっぱい！！子どもはダメで大人だけが良いなんて、許されるの？次々に出てくる子どもの不満に、お父さんはどう答えるのでしょうか？あなただったらどう答えますか？